

神奈川県構想

「神奈川県構想・プロジェクト51」(2004年3月策定)

第1章 神奈川のめざすすがた〈目標年次：2015年〉

- 1 時代の変化と今後の見通し
- 2 2015年の神奈川

- 健康で、生き生きとくらする福祉・医療のしくみづくり
- 安全で安心してくらするが確保された地域づくり
- 世界にはばたく、未来の人づくり・子育て環境の整備
- 創造的で元気な産業の育成、多様な働く機会の創出
- 地球環境保全や循環型社会の実現に向けた取り組みの推進
- 多彩なライフスタイルに対応した共生社会づくり
- 県民一人ひとりが、自らの地域を誇れる県土づくり
- 自らの地域のことは自らが決める地域社会づくり

3 県土づくりの基本的方向

第2章 実施計画〈計画期間 2004～2006年度〉

- 1 施策展開にあたっての基本的視点
- 2 重点政策の基本方向

- ◎中期的な見通しに立って重点的に取り組む政策の基本方向
- 1 総合的な〈安全・安心の確保〉～県民の不安の解消に向けて～
- 2 神奈川を支える〈次世代の育成〉～少子化の進行への対応～
- 3 技術・人・情報を生かした〈地域経済の再生〉～産学公連携、地域連携による産業の活性化～
- 4 将来へつなぐ〈良好な環境〉の保全・創造～環境を次の世代に引き継ぐ～
- 5 〈民との協働〉による地域活力の創造～神奈川の地域力を結集して～

3 7つの政策課題分野

- I 安心してくらする福祉・医療の基盤整備
- II 県民の安全・安心の確保
- III 未来を担う人づくり
- IV 産業振興による地域経済の活性化
- V 地域からの環境の保全と創造
- VI 心豊かなくらしと共生社会の実現
- VII 個性あふれる地域づくり

4 戦略プロジェクト

◎重点的・優先的に取り組む51のプロジェクト

5 主な施策・事業体系

◎7つの政策課題分野ごとに包括的・体系的に取組みを整理

6 まちづくり事業

◎道路、河川をはじめとした都市整備などの主な施策・事業

「神奈川県構想・地域計画」(2004年12月策定)

第1章 神奈川の地域のすがた〈目標年次：2015年〉

第2章 各地区の将来像と地域プロジェクト

〈計画期間 2004～2006年度〉

- 1 国際文化交流都市圏
 - I 川崎地区 時代を先駆ける国際環境創造都市・川崎
 - II 横浜地区 世界に開かれた文化芸術創造都市・横浜
 - III 横須賀三浦地区 海・みどり、歴史、活力 - まるごと公園半島
- 2 環境共生生活都市圏
 - IV 津久井地区 森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井
 - V 県央地区 うるおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央
 - VI 湘南地区 地域力がいきづく躍動都市圏・湘南
- 3 緑住快適交流都市圏
 - VII 足柄上地区 活力と魅力あふれる快適環境生活圏・足柄
 - VIII 西湘地区 いきいき観光交流都市・西湘

活力ある地域社会・生きがいのあるくらしの創造

神奈川県構想・白書2006

第1章 重点政策の基本方向 …P7

◎中期的な見通しに立って重点的に取り組む5つの政策の基本方向に沿って、3年間に取り組んだ内容と今後の方向をとりまとめました。

第2章 戦略プロジェクト …P15

◎51のプロジェクトごとに、2006年度の成果と3年間の評価をとりまとめました。

分野別索引 P18

凡例 P20

〔3年間の評価〕

- ・3年間取り組んだ51のプロジェクトについて、設定した目標の達成度や取組状況なども含め総合的に評価を行い、😊😊、😊、😐、😞の4つのランクに分類しました。
- ・評価の理由などを、統計などをもとに取りまとめ多角的な分析を行い、今後の課題や2007年度を初年度とする総合計画に向けた対応などをまとめました。

〔3年間の評価について〕

51の戦略プロジェクトのうち、目標を達成したと評価したもの(ランク😊😊)は13(25.4%)でした。また、ほぼ目標を達成したと評価したもの(ランク😊)は26(50.9%)で、ランク😊😊と😊の合計は39(76.4%)でした。

区分	プロジェクト数	割合※
😊😊	13	25.4%
😊	26	50.9%
😐	9	17.6%
😞	3	5.8%
合計	51	

※小数点第2位切捨てのため、割合の合計は100%になりません。

評価の一覧はP176～177に整理しています。

〔目標の取組状況〕プロジェクトごとに掲げた2006年度の目標の達成状況を、A、B、C、Dの4つのランクで評価しました。

〔目標の達成状況について〕

51の戦略プロジェクトで掲げた80の目標のうち、本書の発行時点で2006年度の実績を数値で把握できたものは37ありました。そのうち、目標の値を達成したものは14(37.8%)でした。また、目標の値を80%以上達成したものは16(43.2%)で、ランクAとBの合計は30(81.0%)でした。

区分	目標数	割合※
A 年度別の目標の値を達成	14	37.8%
B 年度別の目標の値を80%以上達成	16	43.2%
C 年度別の目標の値を60%以上達成	3	8.1%
D 年度別の目標の値の達成状況が60%未満	4	10.8%
達成状況を把握できたもの	37	
達成状況を把握できないもの	43	
目標の数の合計	80	

※小数点第2位切捨てのため、割合の合計は100%になりません。

目標の一覧はP176～177に整理しています。

〔構成事業の取組状況〕構成事業ごとに、2006年度の目標の進捗状況を進捗率という数字で評価しました。

〔構成事業の進捗状況について〕

構成事業の工程として示した332の目標のうち、本書の発行時点で2006年度の実績を数値で把握できたものは201ありました。そのうち、目標の値以上に進捗したものは112(55.7%)でした。また、目標の値の80%以上進捗したものは43(21.3%)で、これらの合計は155(77.1%)でした。

*構成事業の詳細な進捗率については、神奈川県総合計画のホームページにて公開しています。
ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/seityo/hakusyo/hakusyo.html>

※現時点で実績値が把握できないものについては、把握できた段階で四半期ごとにホームページで公表します。

第3章 地域プロジェクト …P139

◎8つの地域ごとに3年間の取組状況と課題及び今後の対応方向をとりまとめました。

第4章 主な施策・事業体系 …P149

◎3年間に取り組んだ事業を包括的・体系的に整理しました。

第5章 まちづくり事業 …P168

◎2004～2006年度に着手・完成または実施した主な事業などを紹介しました。

第6章 プロジェクト事業費 …P173

◎戦略プロジェクトの2006年度までの予算化状況をとりまとめました。

戦略プロジェクトの取組状況の算出方法

戦略プロジェクトの取組状況の算出方法は次のとおりです。

1 目標の達成状況

(1) 戦略プロジェクトの2006年度の目標に対する実績について、次の区分により達成率を算出しました。

類 型	算出方法
数値目標	
① 各年度の目標に対する該年度の進捗状況を示すもの	$\frac{\text{当該年度の実績}}{\text{当該年度の目標}} \times 100(\%)$
② 累計のあるもの	$\frac{\text{当該年度までの累計の実績}}{\text{当該年度までの累計の目標}} \times 100(\%)$
③ 前年度比増を目標とするもの	$\frac{\text{当該年度の実績}}{\text{前年度の実績}} \times 100(\%)$
④ 反復継続を目標とするもの (目標を年間の実施回数などで示すもので、毎年度反復継続して行うもの)	$\frac{\text{当該年度の実績}}{\text{当年度の目標}} \times 100(\%)$
⑤ 逡減を目標とするもの	$\frac{\text{当該年度の目標}}{\text{当該年度の実績}} \times 100(\%)$
文章目標	

(小数点第2位切捨て)

(2) 算出された達成率を次の区分によりランク分けしました。

なお、出典とする統計資料の公表時期の関係で、本書の発行時点で2006年度の実績が把握できないもの、2006年度の目標の値がないもの、目標が文章のものなど、達成状況が把握できない目標については、ランク分けは行っていません。

ランク	達成状況の区分	
A	年度別の目標の値を達成	達成率が100%以上*
B	年度別の目標の値を80%以上達成	// 80%以上 100%未満
C	年度別の目標の値を60%以上達成	// 60%以上 80%未満
D	年度別の目標の値の達成状況が60%未満	
—	達成状況が把握できないもの	

*算出方法③の数値目標については、達成率が100%を超えたものをランクAとします。

2 戦略プロジェクトの3年間の評価

(1) 戦略プロジェクトの目標の種類ごとに、次の区分により自己評価を行いました。

なお、各年度の目標の達成が把握できるものの実績値は、1(1)の達成率と同様の類型で算出しました。

目標の種類		評価の方法
各年度の目標の達成度が把握できるもの	① 目標が3年間の実績の累計値で設定されているもの、または累計値として扱うことができるもの	・ 最終年度の実績が3年間の実績となるため、2006年度の実績値をもって評価しています。
	② 目標が単年度の実績値のもの	・ 各年度の実績値を平均し、平均値をもって評価しています。
	③ 目標が複数あるもの	・ 各目標・各年度の実績値を平均し、平均値により評価しています。
各年度の目標の達成度が把握できないもの	④ 実績値の把握が白書の発行時に間に合わないもの	・ 2005年度までの実績値や、実績値の傾向、各種調査や統計、事業の取組状況などを総合的に判断して評価しています。
	⑤ 目標を文章で表したもの(文章目標)	

(2) 自己評価の結果を次の区分によりランク分けしました。

ランク		達成状況の区分	
☺☺	目標を達成しました	各年度の目標の達成度が把握できるもの	目標の達成率が100%以上
		各年度の目標の達成度が把握できないもの	2005年度までの実績値や、実績値の傾向、各種調査や統計、事業の取組状況などを総合的に判断して、上記に該当するもの
☺	ほぼ目標を達成しました	各年度の目標の達成度が把握できるもの	目標の達成率が80%以上100%未満
		各年度の目標の達成度が把握できないもの	2005年度までの実績値や、実績値の傾向、各種調査や統計、事業の取組状況などを総合的に判断して、上記に該当するもの
☹	ある程度目標を達成しました	各年度の目標の達成度が把握できるもの	目標の達成率が60%以上80%未満
		各年度の目標の達成度が把握できないもの	2005年度までの実績値や、実績値の傾向、各種調査や統計、事業の取組状況などを総合的に判断して、上記に該当するもの
☹☹	目標の達成状況は芳しくありません	各年度の目標の達成度が把握できるもの	目標の達成率が60%未満
		各年度の目標の達成度が把握できないもの	2005年度までの実績値や、実績値の傾向、各種調査や統計、事業の取組状況などを総合的に判断して、上記に該当するもの

3 構成事業の進捗状況

進捗率は、1(1)の達成率と同様の類型で算出しました。

なお、出典とする統計資料の公表時期の関係で、本書の発行時点で2006年度の実績が把握できないもの、2006年度の目標の値がないもの、目標が文章のものなど、進捗状況が把握できない目標については進捗率の算出を行っていません。